

| | | | |
|-------|--------|------|--------------|
| 3類型 | 鋳工業品 | 通巻番号 | 2 - 19 - 024 |
| 地域資源名 | 曲げわっぱ | 認定日 | 平成20年2月15日 |
| 地域 | 秋田県大館市 | 所管省庁 | 経済産業省 |

事業名: 秋田杉のスライス材を活用した高齢者向け曲げわっぱ食器の開発

会社名: 株式会社 大館工芸社

所在地: 大館市釈迦内字家後29番地15
HP:

連絡先: TEL: 0186-48-7700

事業概要(新たな活用の視点)

- ・曲げわっぱの原材料である天然秋田杉の枯渇や生産性の低さを解決すべく、自社が開発したスライス材の巻き付け加工技術を活用することで、資源の有効活用と歩留まりやリードタイムなど生産性の大幅向上が可能
- ・従来の製法では、直径8cm以下の曲げ加工は難しく、複雑形状のものは製造できなかったが、当該加工技術により、直径4cmまでの曲げが可能となり、高齢者が使用しやすいユニバーサルデザイン等複雑形状の食器が可能。



【従来の曲げわっぱ】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・400年以上の歴史を有する伝統工芸品でありながら軽量で、他の食器にはない木のぬくもりと気品が味わえる。

市場性

- ・今後、主要な購入先となる高齢者人口の増加にあわせ、ユニバーサルデザインの弁当箱と重箱を兼ねた食器の他、通常生活で使用するサラダボウルや椀物、鉢物等の商品を開発する。

販路

- ・高齢者商品を強く打ち出した商品展開により、百貨店や専門店に対して売り場の演出提案を行いながら販売を行う他、生活雑貨チェーンや生協には、共同開発やオリジナル商品を提案しながら市場を開拓すると共に、通信販売やインターネット販売により、個人購入者の発掘を行う。



【スライサー加工技術】



【鋭角加工が可能となった曲げわっぱ】

地域資源における関係事業者との連携

- ・地域の曲げわっぱ製造企業のリーディングカンパニーとして、市場動向等を地域企業にフィードバックしつつ、デザイナーや専門家を地元同業者と結びつけ、地域全体の技術力向上と活性化を図っていく。